

# 收藏作品展

2022.12/20(Tue)  
— 2023.4/23(Sun)



加藤東一「伝承」



渡辺久子

**略歴**

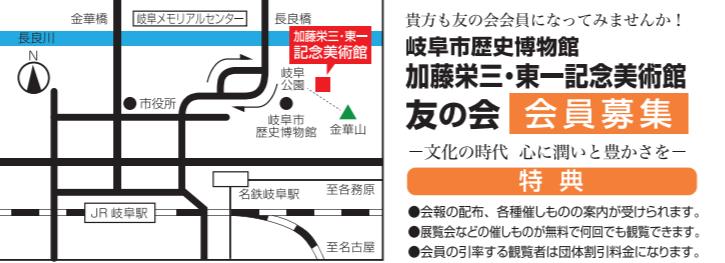
1980 年頃から新制作展に出品  
1986 年 個展 柴船画廊(刈谷市)  
1992 年 個展 美術ジャーナル画廊(東京)以後、1995 年開催  
1993 年 個展 池袋三越(東京)以後、1994 年広島三越  
1996 年 新制作展新作家賞受賞(同賞 2000 年、2004 年)  
1998 年 個展 アートコレクション中野(名古屋)以後、2000 年、2003 年、2006 年開催  
2005 年 新制作協会会員推挙  
2008 年 グループ展 オクタビジョン展(東京、神奈川)  
以後、2010 年、2015 年、2016 年開催

## 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

交通案内 | JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きバスで「岐阜公園・歴史博物館前」で下車(所要時間約 15 分)  
徒歩約 5 分(岐阜公園内・ローブウェー駅横)

駐車場 | 岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。  
なるべく公共交通機関をご利用ください。



貴方ともうの会員になってみませんか?  
**岐阜市歴史博物館  
加藤栄三・東一記念美術館  
友の会 会員募集**  
—文化の時代 心に潤いと豊かさを—  
**特典**  
●会報の配布、各種催しものの案内が受けられます。  
●展覧会などの催しが無料で何回でも観覧できます。  
●会員の引率する観覧者は団体割引料金になります。

## 河井一郎 洋画展 —絶余曲折70年—

2022.12/20(Tue) — 2023.1/15(Sun)



河井一郎「あるの情境 31-4」

## 野田 龍二・渡辺 久子 洋画二人展

2023.2/28(Tue) — 4/23(Sun)



野田 龍二「青い月夜の航海」

渡辺久子「伸びる緑」

**We're leaving!**  
名古屋芸術大学日本画コース新進作家選抜展

2023.1/17(Tue) — 2/26(Sun)



山守 良佳「なんでもない日」



福本百恵「鶴を鳥と」

## 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1-46(岐阜公園内) TEL・FAX 058(264)6410

開館時間：午前9時～午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

休館日：月曜日【2023年1月9日(月・祝)は開館】

12月28日(水)～2023年1月3日(火)、1月10日(火)、3月22日(水)

観覧料：高校生以上 310円(団体 250円)、小中学生 150円(団体 90円)

マスク着用、検温、手消毒にご協力ください  
アルコール消毒  
1m以上離れてご来館ください  
ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください

体温のすぐれない方はご入館をお控えください

※( )内は 20 人以上の団体料金。

\*身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、難病に関する医療受給者証の交付を受けている方、

及びその介助者 1 人、岐阜市内在住の 70 歳以上の方は、証明書などを提示すると無料。岐阜市内の中学生以下の方は無料。

\*家族の日【2023年1月15日(日)、2月19日(日)、3月19日(日)、4月16日(日)】に入館する中学生以下の方と、

その家族は無料。

\*新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しています。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 野田 龍二・渡辺 久子 洋画二人展

2023.2/28(Tue) — 4/23(Sun)

絵画とは一個の世界を生み出すという点において、それは創造である。  
単に線を色彩の集合のみではなく、その表面的な裏に作者としての内的背景、すなわち自身が創造した生命を持っているものなのである。  
私は、自由でありたいといった人間の本源的願望をテーマとして創る喜びが生きる歓びとなるべく創作活動を続けている。

野田 龍二



野田龍二「望景」



野田龍二「嬉遊曲」

野田龍二「遊びのある部屋」

## 略歴

1972 年 新制作展・中部新制作展 新人賞・優秀賞・中日賞・中部新制作賞受賞  
(1986 年以降は無所属となる)  
1975 年 夢土画廊(東京銀座)、週刊ポストグラビアに作品掲載  
1976 年 シエル美術賞受賞、ポスト・コレクション展招待(東京セントラル美術館)  
※主な出展作家: 園本太朗、片桐康子、鶴居裕、福沢一郎、横尾忠則、池田謙寿夫、利根山左人、田淵安一、中林忠良、金子国義、中村正義等  
1977 年 椿近代画廊企画展(東京新宿 以後 1978 年・1982 年・1985 年・1987 年開催)、  
バルコ・岐阜企画展(特設会場、1992 年～6 回開催)  
1978 年 日仏現代美術展(パリ・グランパレ美術館)  
1981 年 小学館・童画新人大賞展 佳作賞受賞  
1983 年 油絵大賞展(東京セントラル美術館)、近鉄・岐阜(美術画廊)企画展  
1985 年 花フェスタ絵画コンクール 奨励賞受賞、伊藤廉記念賞展(名古屋・日動画廊)  
1986 年 裸婦大賞展(亀谷美術展・東京セントラル美術館)、魁展招待(新宿・伊勢丹)  
1990 年 現代日本美術展(山口県立美術館)、第 15 回荻原高徳記念美術館展 大賞受賞(作品収蔵)  
1991 年 第 1 回美術三法莊賞 三法壯賞受賞(三甲美術館収蔵)  
1993 年 ロシア・ブーンキン美術館(作品収蔵)  
1999 年 第 14 回国民文化祭ぎふ'99 壱岐市長賞受賞  
2008 年 利根山光人記念大賞展(岩手県立美術館)  
2009 年 新制作展・中部新制作展 中日賞・東海テレビ放送賞受賞  
2010 年 第 15 回 TYK 大賞展 大賞受賞(TYK 作品収蔵)、新制作協会・協友推奨  
2011 年 第 16 回 TYK 大賞展(第 15 回大賞受賞作家として招待)  
2016 年 第 22 回 TYK 大賞展・SM 部門 大賞受賞  
2019 年 第 11 回谷竹一大賞展(アートピア付知交芸プラザ)  
2021 年 第 12 回谷竹一大賞展(アートピア付知交芸プラザ)  
その他、個展を東京、名古屋(5/RHall&Galleria)、岐阜(いまじん、水の音)等、計 35 回開催

# 第1展示室 収蔵作品展

2022.12/20(Tue)–2023.4/23(Sun)

当館では栄三・東一両画伯の作品をテーマ別に紹介する企画展を年4回開催しています。3900点あまりの収蔵作品の中には企画展の趣旨には合わない作品もあり、展示の機会に恵まれない名品も多く収蔵しています。今回、これまであまり公開されてこなかった栄三・東一の本画作品、下絵、素描などを二人にゆかりのある作家、岐阜ゆかりの作家の作品とあわせ紹介します。



加藤 東一「修二会 素描」



加藤 栄三「制作をはじめる(書簡)」

## 第2展示室 河井一郎 洋画展 —糸余曲折70年—

2022.12/20(Tue)–2023.1/15(Sun)

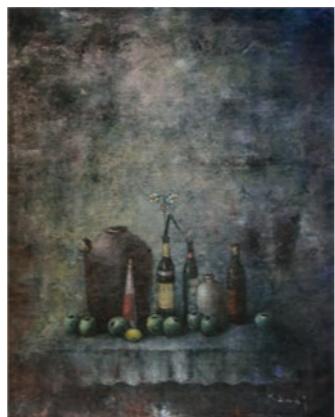
私は小学校の頃から絵が好きで、漠然と生涯絵を描いて生きていたら……という夢みたいなものを描いていました。しかし現実はそんなに甘いものではありませんでした。小学6年生の時に母親が亡くなりました。戦争、敗戦と戦後の混乱期、青春も心の余裕も何もない時代の中で、色々なことをやりました。

そんな中、家庭の事情で精神的にどうしても描けなくなってしまった、8年ばかり空白を作ってしまった期間もありますが、なんとか今日まで絵描きを続けることができました。それには家の理解、協力、また、親友の叱咤激励があったおかげだと思っています。初心貫徹といったところでしょうか。

絵を志してから約70年よくぞ!!との思いから展覧会名を「糸余曲折70年 河井一郎洋画展」として、一陽出品作、描きためた小作品を並べてみました。ご高覧いただければ幸いです。

### 略歴

1930年 岐阜市城田寺に生まれる  
1955年 武蔵野美術学校（現：武蔵野美術大学）入学  
1957年 武蔵野美術学校中退  
1958年 二紀展初入選（東京）  
以後8年間家庭の事情により筆を絶つ  
1966年 一陽展初入選 以後毎年入選  
1968年 中部一陽会にて新人賞（'69知事賞 '70中日賞 '71中部一陽賞受賞）  
1972年 一陽展特待賞受賞  
1974年 一陽会会友に推挙される  
1979年 一陽会会員に推挙される 中部一陽展審査員となる  
萌土社参加（～2015年まで出品）  
岐阜県美術展審査員  
岐阜市美術展審査員  
中部一陽会講師  
絵画教室 創の会、藍画会、和楽園などの講師をつとめる  
2002年 岐阜市より教育功労者として表彰される  
2004年 一陽会第50回記念美術評論家賞受賞（評論家宝木範義氏）  
2006年 一陽会委員に推挙される  
2010年 武蔵野美大OB出品  
2020年 一陽会退会  
現在 グループ展 個展多数



「橋のある風景」



「或る情景 29」

## 第2展示室

# We're leaving!

名古屋芸術大学日本画コース新進作家選抜展

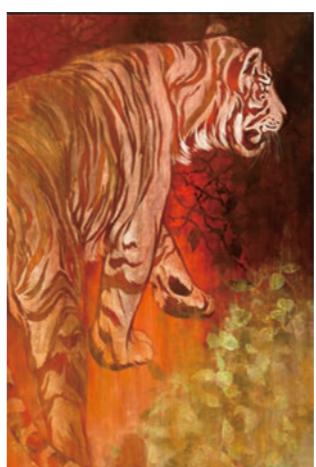
この度名古屋芸術大学日本画コースの教員、卒業生、学生による選抜展を開催させていただきます。

様々な表現方法の拡張により、日本画の解釈も以前とは変わっている現状の中、自身の足元をしっかりと見つめ制作をしている新進作家による展覧会です。

日本画の今あるリアルが具現化された様な作家の息吹を感じ取っていただけるものと思います。何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

長谷川喜久

日展特別会員、名古屋芸術大学教授



李姝霖「美しい花には…」



安藤祐実「よかし」

### [出品者一覧]

福本百恵  
丹羽優香  
山守良佳  
三柳有輝  
帆刈晴日  
加納遼  
大見真里佳  
中根彩花  
中山千明  
中野ともよ  
森恵  
佐野七海  
田中志歩  
楊亞舒  
吉垣光

### [賛助出品]

長谷川喜久  
瀬永能雅  
熊原清久  
寺脇扶美



田中志歩「Biotop」



吉垣光「夜が泣いている」